

平成18年度9月補正予算 主な事業一覧表

歳出予算（一般会計）

視覚障害者音声誘導システム設置事業	P1
還付金	P2
若者定住住宅取得奨励金交付事業	P3
障害者地域生活支援センター事業	P4
打吹公園等管理事業（打吹公園石積擁壁改修、熊舎改修）	P5
建築指導事業（震災に強いまちづくり促進事業）	P6
社会実験事業	P7
学校施設耐震化促進事業	P8
パークスクエア外構管理事業	P9

歳出予算（国民健康保険事業会計）

保険財政共同安定化事業拠出金	P10
----------------	-----

担当課	総務課
-----	-----

事業名	視覚障害者音声誘導システム設置事業
-----	-------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.1	0	4,900				4,800	100

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等）
 対象（誰、何を対象にしているのか）
 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）

（概要）市役所本庁舎及び東庁舎に音声誘導装置 5 箇所及び点字ブロックを設置し、視覚障害者の不便を解消し、市民サービスに努める。
 （対象）視覚障害者
 （意図）視覚障害者の不便の解消

歳出積算根拠（金額）

総事業費 4,900千円

音声ガイド装置 5 箇所 4,331千円
 （本庁舎 1 階エレベーター前、2 階エレベーター前、2 階西玄関前、
 2 階税務課トイレ前
 東庁舎 1 階福祉事務所入口）
 点字ブロック取り付け 532千円
 （本庁舎 2 階 市民課前～税務課トイレ前）
 表示看板等作成 37千円(助成対象外)

歳入積算根拠（特定財源）

補助対象経費、補助率など

諸収入（雑入）

（財）自治総合センターの平成18年度共生のまちづくり助成事業助成金（10 / 10）
 （10万円未満切り捨て）
 4,331千円+532千円 = 4,863千円 4,800千円

一般会計

9月補正

担当課	税務課
-----	-----

事業名	還付金
-----	-----

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.11	94,373	7,500					7,500

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>事業概要：固定資産税の還付 対象：市税の還付対象者 意図：適正な課税事務</p> <p>全国的に「冷凍倉庫用」の経年減点補正率の適用漏れが多発し、本市についても調査したところ、適用漏れの該当があった。 対象納税義務者：3納税義務者 対象家屋棟数：3棟</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>還付金(平成9年度～平成17年度) 7,500千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	企画課
-----	-----

事業名	若者定住住宅取得奨励金交付事業
-----	-----------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	0	10,000					10,000

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要） 市内で住宅取得をした若者に対して、住宅取得奨励金を交付する。 * 対象経費 ・ 一般住宅の新築及び購入（中古住宅またはマンション購入含む）又は増築 ・ 併用住宅の新築及び購入又は増築 * 奨励金額 ・ 上記の対象経費につき50万円</p> <p>（対象）市内の24歳から35歳の若者 （意図）市内に住宅を建ててもらう</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>住宅建築奨励金 10,000千円（20件×500千円） ・ 奨励金額は周辺町との取得経費格差の解消（2分の1補助）の観点から設定 ・ 交付件数は平成17年における35歳以下の若者の一般住宅建築件数（32件）を参考に設定</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	福祉課
-----	-----

事業名	障害者地域生活支援センター事業
-----	-----------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.1.1	11,000	4,480	-4,395	2,966			5,909

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等）
 対象（誰、何を対象にしているのか）
 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）

事業概要

障害者自立支援法の施行に伴い平成18年10月から障害者の相談支援事業が市町村の必須事業として規定されている。そのため、現在、県が行っている精神障害者等の相談支援事業が市町村事業として位置づけられ、廃止されることになったため、中部圏域1市4町で協議をし、精神障害者を主にした中部圏域での相談支援体制を整備するため、現在県が委託している事業者が1市4町が合同で委託（設置）することとした。また、相談支援事業や障害のある方への支援システムについての協議の場として、倉吉市自立支援協議会を設置するとともに、相談支援事業者が障害者ごとのサービス利用計画を作成するための費用を計上した。

対象

障害者及びその家族

意図

障害のある方が地域で自立した生活ができるよう相談支援事業の充実を図る。

歳出積算根拠（金額）

倉吉市地域自立支援協議会委員報酬 2,700円 × 10人 × 2回 = 54,000円
 相談支援委託料（10月から3月）

	登録者数割	均等割	計
倉吉市	3,262,957	142,700	3,405,657
湯梨浜町	861,421	142,700	1,004,121
三朝町	652,591	142,700	795,291
北栄町	626,488	142,700	769,188
琴浦町	1,018,043	142,700	1,160,743
計	6,421,500	713,500	7,135,000

サービス利用計画作成費 10,000円 × 17人 × 6月 = 1,020,000円

歳入積算根拠（特定財源）

補助対象経費、補助率など

国庫負担金（サービス利用計画作成費負担金） 1,020,000円 × 10% = 102千円

国庫補助金（障害者地域生活支援センター設置事業費補助金） 4,497千円（一般財源化）

県補助金 上半期（11,000,000円 - 2,053,000円） × 前期1/2 × 補助率1/2 2,236,000円

下半期 {（11,000,000円 × 3,405,657円 × 2） - 5,896,000円} × 後期1/2 × 補助率1/2

2,978,000円 合計5,214,000円 5,214千円 - 現計2,248千円 = 2,966千円

担当課	管理課
-----	-----

事業名	打吹公園等管理事業（打吹公園石積擁壁改修、熊舎改修）
-----	----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.3	0	3,670					3,670

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
（概要） （1）めぐみ保育園（仲ノ町）に隣接する打吹公園の石積擁壁は施工されてから100年以上経過し、ひび割れと張り出しにより不安定な状況にある。このまま放置すれば崩壊して保育園と園児に危険を及ぼす恐れが大きいため、早急に改修する必要がある。改修する部分は必要最小限度としコンクリート擁壁(L=6.4m)で復旧改修するものであります。 （2）今年4月に倉吉市長が大阪市長を表敬訪問したのをきっかけとして、大阪市長立天王寺動物園と動物飼育について連絡し合い、天王寺動物園より白クジャクを譲り受ける運びとなった。このため、旧熊舎での飼育について指導助言を受け、この旧熊舎の改修を行った後、白クジャクをもらい受け、大阪市との交流を深めると同時に市民の憩いの場を提供したい。	
（対象）市民と来訪者 （意図）市民生活の安全確保、大阪市との交流促進と公園利用者の増加	
歳出積算根拠（金額）	
修繕料 通信運搬費	3,428千円 242千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
（空欄）	

担当課	景観まちづくり課
-----	----------

事業名	建築指導事業（震災に強いまちづくり促進事業）
-----	------------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2	800	2,000	1,000	500			500

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
<p>【概要】 建築物の耐震診断に対する補助金交付</p> <p>【対象】 （社）倉吉愛児園（保育園）</p> <p>【目的・意図】 安心して暮せる生活環境の構築として、震災に強い安全なまちづくりを目指し、耐震診断・耐震改修を推進させる。</p>
歳出積算根拠（金額）
1件 2,000千円（建築物）1件 事業費3,000千円 × 2/3 = 2,000千円 国 1/3 県 1/6 市 1/6 建築主 1/3
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
国庫補助金 1,000千円 3,000千円 × 1/3 県補助金 500千円 3,000千円 × 1/6

担当課	建設課
-----	-----

事業名	社会実験事業
-----	--------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.1	0	7,000	7,000				0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>（事業の概要） 玉川白壁土蔵群周辺においては年間約30万人の観光客が訪れるが、歩道が未整備のため、自動車と歩行者が混在し、歩行者のスムーズな移動と安全対策が課題となっている。この課題の解決のため車両通行止め・一方通行規制・一方通行規制の解除等の通行規制を実施し自動車・歩行者の交通量・自動車の速度変化等の調査、実験中・後の満足度・改善要望等の把握のためのアンケート調査等を実施する。</p> <p>社会実験を実施する際の計画を策定する業務 3,000千円 交通量・混雑箇所の把握のための業務 2,100千円 アンケートによる調査業務 500千円 フリーマーケット等のイベントの企画運営業務 1,000千円 実験結果を評価・解析する業務 300千円</p> <p>（対象） 歩行者 （意図） 歩行者のスムーズな移動・安全性および一般車両利用者への影響を検証する。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>需用費 100千円 社会実験調査業務委託料 6,900千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>国庫委託金（社会実験事業費委託金） 7,000千円</p>

担当課	生涯学習課
-----	-------

事業名	パークスクエア外構管理事業
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.3	17,433	1,002					1,002

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）（ニホンリスオープンゲージ再開） 現在閉鎖中の倉吉パークスクエア内のニホンリスオープンゲージを、今年10月中を目途に再開させるため、必要な施設の修繕等を行ったうえで、今年度捕獲したニホンリスをオープンゲージに移し、広く市民やパークスクエアを訪れた方々が身近に触れ合えるようにする。再開後は、ニホンリスの飼育管理を倉吉ニホンリスの会に委託する。</p> <p>（対象） 市民及びパークスクエア訪問者</p> <p>（意図） 全国的にも珍しいニホンリスのオープンゲージであり、倉吉パークスクエアの目玉施設として、情報発信していく。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>（消耗品費）リス舎注意看板 77,700円 （修繕料）リス舎手洗い水道取り付け 2箇所 227,115円 リス舎隙間ふさぎ 105,000円 リス舎扉開閉時隙間ふさぎ 16,800円 飼育棟金網補修 159,390円 （手数料）リス舎事務所間インターホン設置手数料 147,000円 リス舎樹木植栽手数料 73,760円 （委託料）日本リスの会業務委託料 193,014円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	国民健康保険課
-----	---------

事業名	保険財政共同安定化事業拠出金
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
5.1.3	0	268,624					268,624

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>県内の市町村国保間の保険料の平準化、財政の安定化を図るため、平成18年10月から30万円を超える医療費を対象に、各市町村が過去の対象医療費実績等に基づき鳥取県国民健康保険団体連合会に拠出金を拠出し、実際に要した対象医療費に基づき鳥取県国民健康保険団体連合会から各市町村が交付金を受ける事業。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>30万円を超える医療費から8万円（自己負担限度額を勘案したもの）を減じた額に59/100を乗じ（41/100は国庫補助の対象であるため）、高額医療費共同事業として交付される金額を減じたものを各年度の対象経費とする。</p> <p>県内対象経費</p> <p>平成17年度 対象医療費 12,496,629,690円 件数 22,328件 12,496,629,690円 - (80,000円 × 22,328件) = 10,710,389,690円 10,710,389,690円 × 59/100 - 830,158,904円 = 5,488,971,013円</p> <p>平成18年度 平成15年度・平成16年度：平成17年度伸び率 104.1327608% 5,488,971,013円 × 104.1327608% = 5,715,817,058円 5,715,817,058円 × 1/2 = 2,857,908,529円（6ヶ月分）</p> <p>平成18年度県内対象経費 2,857,908,529円の50%を被保険者割（平成16年度）残り50%を医療費実績割（平成14年度～平成16年度）で按分する。</p> <p>倉吉市 被保険者割合 0.096692071759 医療費実績割合 0.091294036752</p> <p>被保険者割 2,857,908,529円 × 1/2 × 0.096692071759 = 138,168,548円 医療費実績割 2,857,908,529円 × 1/2 × 0.091294036752 = 130,455,003円</p> <p>平成18年度倉吉市拠出金額 138,168,548円 + 130,455,003円 = 268,623,551円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>